Memoirs of the Osaka Institute
of Technology, Series B
Vol. 57, No. 1（2012） pp. 11～17

Happen to不定詞と日本語の「たまたま」の対応について

田岡　育恵

情報科学部　情報メディア学科

（2012年５月31日受理）

The Correspondence between *Happen to*+Infinitive and *Tamatama* in Japanese

by
Ikue TAOKA
Department of Media Science,
Faculty of Information Science and Technology

(Manuscript received May 31, 2012)

Abstract

Happen to+infinitive is used to express contingency of an event. A Japanese adverb *tamatama* also expresses contingency and is often used in the translation of *happen to*+infinitive. However, *tamatama* is sometimes not appropriate as the Japanese counterpart of *happen to*+infinitive. This paper is focused on the correspondence between *happen to*+infinitive and *tamatama* in translation. If a default causal relation is widely assumed to underlie an event, and this causal relation is denied with *happen*, *tamatama* can be used in the translation. Also, if the event is a rare one, low in frequency in its occurrence, *tamatama* can be used in the translated Japanese. Otherwise, *tamatama* is inadequate in translating *happen to*+infinitive into Japanese.

キーワード；　偶然性，事態の因果関係，翻訳

Keyword；　contingency, causal relation between events, translation

第19回英語語法文法学会ワークショップ（2011年10月15日　於奈良女子大学）で口頭発表した内容に基づく。

1．はじめに

本稿は，英語のhappen to不定詞を日本語に訳す際，日本語の偶然を表す副詞「たまたま」を用いることができるかどうかについて考えるものである．(1a)のhappen to不定詞は「たまたま」を用いて和訳しておかしくないと思われるのに，(2a)は「たまたま」を用いて訳すとおかしいと思われる．

(1) a. I'm sorry. I happened to see it. Your letter was on the screen.
(D. Steel, *Answerd Prayers*) [1)]
b. ごめんなさい．たまたま見てしまったのよ．画面に出ていたから．

(2) a. *Main Street*, which is always put down as my first book, happens to have been my seventh. (*OED*^{2}, s.v. *happen*) [2)]
b.『メイン・ストリート』はいつも私の第１作とされるのだが、(？たまたま) 第７作目だ．

では，このようなhappen to不定詞の訳に「たまたま」を用いることができるかどうかの違いはどこに起因するのだろうか．本稿では，その点について両者の意味と用法を比較しつつ考える．

2．「たまたま」の表すもの（その１）

(3)も,「たまたま」と訳すと，おかしな日本語になる例である．

(3) a. She is the sister of my best friend, who happens to be dead.
(D. Steel, *Answered Prayers*) [3)]
b. 彼女は僕の親友の妹だ．その人は（？たまたま）亡くなっているのだけれど．

これは「亡くなる（死ぬ)」のような非意図的な事態が述語に来ているので，偶然を表す副詞「たまたま」との共起が剰余的でおかしいのかと言えば，そうではない．何故ならば,次のように「死ぬ」が「たまたま」と共起しておかしいとは思われない場合があるからである．

(4) 平成16・17年に鳩山の収支監査をやった花田順正税理士が衆院選の前日にたまたま心不全で死亡．
(http://sonytimer.jza.ne.jp/blog/entry)

(5) ケンカ売られたとか腹立つ事言われたからって殺しちゃダメなんだよ.思い切り殴っておいて,たまたま死んじゃったなんて泣き言言わないこと．(http://mimizun.com/2chlog/newsplus/)

これらの例では,「たまたま」によって２つの事態の関連を否定している．(4)については,「税理士が死亡したこと」と「死亡が衆院選の前日だったことから想像される死亡の原因」との関連を否定している．(5)については「殴ったこと」と「相手が死亡したこと」との因果関係を否定している．(4), (5)については，それぞれ（6), (7)のように言い換えることができるが，それはその背後に(8)，(9)のような想定が考えられるからだろう．

(6) 税理士が死亡したのは衆院選の前日だったからではない．
(7) 亡くなったのは殴ったからではない．
(8) 税理士が死亡したのは衆院選の前日だったからだ．
(9) 亡くなったのは殴ったからだ．

「たまたま」で訳すことができるとした(1a)の場合も，(10)のように言うことができ，その背後に(11)のような想定が考えられる．

(10) 見ようと思って見たのではない．
(11) 見たのは見たかったからだ．

これに対して，(3a)の場合は，そのように否定できる因果関係が考えられない．否定できる因果関係が考えられないから「たまたま」と共起できないのであって,「亡くなっている」という事態だから「たまたま」と共起できないというわけではない．

「たまたま」を用いることができるかどうかは特定の述語と共起できないということではない．このことを，更に次の例で確認しておきたい．

(12) a.「わしは中日ドラゴンズファンにはいつもホシノちゃんと呼びかけることにしている．たとえ何があろうと，巨人といえばナガシマ，中日といえばホシノじゃないか」「でもさ，

おじさん，俺の本名はたまたまホシノっていうんだ」　(村上春樹『海辺のカフカ』)[4]
b.(自己紹介で) 私の名前は（？たまたま）ホシノっていうんです．

(13) a. もしお時間があればということですが，2 時から館内の簡単なツアーがあります．みなさんのご希望があれば，いつも火曜日の午後に行っているんです．この図書館の由来などを館長がご説明します．たまたま今日は火曜日です．　(村上春樹『海辺のカフカ』)[5]
b.「今日は何曜日だった？」「今日は（？たまたま）火曜日よ」

(12a) の場合は「中日ファンだからホシノというのではない」と言えるので「たまたま」はおかしくないが，(12b) のように，自己紹介でいきなり「たまたま」が用いられると，聞き手は何故，わざわざ「たまたま」を用いたのかと思うことになる．「たまたま」で否定する因果関係が考えられないからである．(13a) では,「今日, 特別に館内ツアーを思い立ったわけではない」と言えるが，(13b) のように，曜日を聞かれて, 何も否定する関連づけがないのに「たまたま火曜日」というのはおかしいということになる．

３．「たまたま」と訳すことのできない Happen

「たまたま」と訳すとおかしい例として出した(2), (3) は，どちらも「たまたま」で否定する何らかの因果関係が想起できないのでおかしいということになる．更に，例を見てみよう．

(14) a. “I can't picture you surrounded by thirty children with adoration in their eyes.” “I happen to like children very much!”　(BNC, JY6)[6]
b.「君が目を輝かせた子供たちに囲まれているところは想像しがたい」「私は（？たまたま）子供は大好きなのよ！」

(15) a. “He doesn't think much of the guy, either.” “Maybe not,” Ashley said stiffly. “However, I happen to like him.”　(BNC, JY9)[7]
b.「彼はあの人のことを大した人だと思っていないよ」「そうでしょうね」とアシュレーは素っ気なく言った.「でも, 私は（？たまたま）あの人のこと好きなのよ」

(14) では，相手の想定は「君は子供とは無縁の生活だろう」というものであり，(15) では，「あの人は大した人だとは思われていない」というのが相手の想定で，その想定とはほぼ逆のことを言う際にhappenが用いられている．このような場合，「たまたま」というより「実は」の方が適切に思われる．

(16) a. 実は，私は子供は大好きなのよ．
b. 実は，私はあの人が好きなのよ．

(14) に対して，(17) のように，子供好きであるということが文脈で既に出ている場合は，「たまたま」で訳すことができると思われる．「特に理由があって子供の世話をしているわけではない」という想定の否定が考えられるからである．(15) に対して，(18) のように，「特に訳があって彼を贔屓にしているわけではない」というような想定の否定が考えられる場合には「たまたま」を使用しておかしくないだろう．

(17) a. “You often take care of the children of your neighbors.” “I happen to like children very much!”
b.「あなたはよく近所の子供の面倒を見ますね」「たまたま私は子供が好きなの」

(18) a. “You seem to favor him.” “I happen to like him.”
b.「彼を気に入っているようね」「たまたま彼が好きなだけ」

以上から，「たまたま」は常にhappen to不定詞の訳に用いられるのではなく, 何らかの因果関係を「たまたま」によって否定すると考えられる場合のみ用いられると考える．逆に言えば，事態の因果関係を否定するのに用いられるのではないhappenの用法があるということである．

４．「たまたま」の表すもの（その２）

「たまたま」を国語辞典で引くと, ほとんどの場合，(19) のように，2 つの意味が挙げられている．

(19) たまたま〚副〛[1] 時おり．時たま．たまに．「春とはいえ―寒い日がある」[2] 偶然に．ちょうどその時．「―駅で旧友にあった」(『大辞泉』[8])

上では，(19)の[2]「偶然に．ちょうどその時」の意味を見てきた．では，(19)の[1]「時おり．時たま．たまに」に対応するhappenはあるのかと言えば，次のように稀少事態を表す用法はある．

(20a)の下線部は，「滅多にいない気難しい執事とでもうまくやっていった」という意味だが，(20b)のように「たまたま」を用いて訳すことが可能である（下線は筆者)．「気難しい執事がいること」は括弧の中のthere usually weren'tが示すように稀な事態だと言える．(21a)は「乱視」がいつ起こるのかを述べた文であるが，乱視である方が乱視でない場合より稀な事態であり，この場合も「たまたま」を用いて訳すことが可能だと思われる．

(20) a. She looked after elderly parents, accepted the care of young children, nursed the sickly, cooked divinely, <u>got on well with any crusted servants there might happen to be (there usually weren't)</u>, was tactful with impossible people, soothed habitual drunkards, was wonderful with dogs.
(A. Christie, ***What Mrs. McGullicudy Saw!***)[9]

b. (ふつうはいないが) たまたまいるかもしれない気難しい執事とでもうまくやっていった.

(21) a. It (i.e. astigmatism) occurs when the outer part of the eye (the cornea) or the lens of the eyes happened to be not perfectly round.. (小西(1980))[10]

b. 乱視というのは，角膜や水晶体がたまたま完全な丸でないときに起こる．

OED²によれば，happenは本来、事の生起を表わす動詞であった.[11]「たまたま」の「たま」は，かなり間をおいて物事が起こるさまを表すものである．ふつう起こった事態はhappenを用いずとも表現できる．寧ろhappenを用いて表すことの方が稀である．happenは事の生起に特に注目して表すということから，「殊更にその生起を表すに値するような特異な(稀な)事態」を表していると考えられる．「稀な事態」はいつでも起こることではない．必ずしもそうなるのではない事態であるから，事態の必然性はないということになる．そこから「特に事態生起の必然性はないが，このようなことが起こった」という，偶然を表すhappenの用法が確立していったのではないかと考える．

5. Happenに対応する日本語訳の例

ここでは，大学生27名にhappen to不定詞を含む以下の７つの英文をどのように訳すのかを尋ねた例を紹介し，その訳に偶然性を表す表現が用いられたかどうかを見る．これは，それぞれの英文がどのように訳されるべきかという答えを出すというより，happenの意味を辞書で引けば「偶然，何々する」と載っていて，学校でもそのように習ってきた学生が，個々の英文を訳すときにその知識に影響されるのかどうかを見る一例と思っていただきたい．以下，極端な誤訳の例は除くが．誤訳でも興味深い訳例は敢えて挙げることにする．

(22)については，(23a)，(23b)のように「偶然」，「たまたま」のような偶然を表す日本語を用いる学生が大半であった．

(22) I happened to see it.

(23) a. 私は偶然それを見た（見てしまった・見かけた)．(18人)

b. (私は) たまたまそれを見た．(８人)

c. 私はそれが分かった．(１人)

これは，「見る」という動詞の場合，happenの部分を「偶然」や「たまたま」で訳すのが自然だということを示唆する．これらの偶然を表す表現によって，「見る」という行為が非意図的に行われたことを明確に表現することになるからである．それらの偶然表現を用いなかった１名は，「見る」ではなく「分かった」という訳にしている．「見る」と「分かる」は，どちらも見ようと思っても見えなかった，分かろうとしたが分からなかった，のように意志でコントロールできない場合があるが，「見る」の方は阻止する物理的障害がない限り，意図すれば「見る」は成立する．それに対し，「分かる」は，分ろうとしても分らない場合があるので，より偶発的な事象であると考えられ，それで偶発性を明示する必要がないという判断に至ったのではないかと考え

る．

(24)については「偶然」，「たまたま」と訳す学生が何名かいるものの，最も多いのは「好きになってしまった」，「私は彼女がとても好きだ」と，「偶然」，「たまたま」というような偶然性を表す表現を用いない訳であった．

(24) I happen to like her.
(25) a. 偶然，彼女を好きになった．（４人）
b. 彼女をたまたま好きになった．（３人）
c. 彼女を好きになってしまった．(11人)
d. 私は彼女がとても好きだ．（１人）
e. おそらく私は彼女のことを好きだ．（４人）
f. 彼女に一目ぼれした．（２人）
g. 多分，私は彼女を好きだ．（１人）
h. 実は，私は彼女のことが好きだ．（１人）

「好きである」の場合，「たまたま」，「偶然」が入るといささか違和感があるものの，入ってもまったくおかしいということはない．彼女を好きになったことの偶然性を強調する場合が考えられる．興味深いのは，「おそらく」や「多分」のような不確定を表す副詞を用いている学生が計５名いたということである(cf. (25e), (25g))．偶然性→必然性の欠如→不確定性という連想と思われる．「一目ぼれ」と訳した学生が２名いた(cf. (25f))．これも偶然性の強調からだろうか．また，「実は」という副詞を用いた学生も１名いるが(cf. (25h))，「実は」は，相手が知らないと思われる意外な事態を切り出すときに用いられる副詞である．

(26) I happen to think you are wrong.
(27) a. （私は）あなたは間違っていると思う（思うようになった・思っている・思っています・思った）．（８人）
b. 私はひょっとしたらあなたが間違っているのではないかと思う．（２人）
c. 私はあなたが間違っているように思うが．（１人）
d. 私はあなたが間違っていることもあり得ると考えます．（１人）
e. 私はあなたが間違っていると何となく思う（１人）
f. 私はおそらく（君が間違っている・あなたが悪い）と思う．（２人）
g. 私はあなたが悪いと思うしかない．（１人）
h. 私はあなたが間違っていると直感した．（１人）
i. 私はたまたまあなたが間違っていると（考えていた・思った）．（３人）
j. 私は偶然あなたが誤っていると思った．（２人）

「たまたま」や「偶然」を用いずに訳した学生は計17名であるが，(26)はそのような偶然性を表す副詞がない方が自然な日本語である．「思う」というのは，本来，非意図的な事態だからである．「たまたま」や「偶然」との共起が不自然だというのは，本来，非意図的事態で，何もそのような偶然を明らかにする必要がないのにそれを表そうとするところにある．やはり，「ひょっとしたら」，「あり得る」，「おそらく」という何らかの不確定性を表す表現を用いている学生が計５名いる(cf. (27b), (27d), (27f))．「何となく」や「直感した」で発言の根拠の無さを表した例(cf. (27e), (27h))，あるいは「思うが」の「…が」で躊躇を示す例もあった(cf. (27c))．これらは，happenの「必然性の欠如」から来るものだろう．(27g)の「思うしかない」は一見，不確定の反対であるが，不可抗力でそう思わざるを得ないというのも，ある意味では非意図性という点で他の例につながっていくのではないかと思われる．「思う」の場合，偶然性を表す表現との共起はおかしいと先に述べたが，「たまたま」と「偶然」では，「たまたま」の方が自然に思われる場合がある．それが何故なのかという日本語としての「たまたま」と「偶然」の比較については稿を改める．

(28) *Main Street*, which is always put down as my first book, happens to have been my seventh.
（いつも私の最初の本とされる『メイン・ストリート』は…）
(29) a. 私の７作目のものなんですけど．（１人）
b. 実は７作目だ．（１人）
c. おそらく(私の７作目だ・７番目です・７番目だ)．（３人）
d. たまたま私の（７番目の本だった・７番目に発行されたものだ）．（２人）
e. 私の７番目となってしまった．（１人）
f. 偶然にも私の７番目の本である．（１人）
g. 私の７作目とされている．（１人）

(28)に関しては，文意が取りにくかったのか，明らかな誤訳が多く見られたが．やはり「けど」で躊躇を(cf. (29a))、「おそらく」で不確定性を(cf. (29c))，「なってしまった」，「されている」で非意図性を表している例(cf. (29e)，(29g))，「実は」を用いた例(cf. (29b))が見られる．「たまたま」，「偶然」を用いたのは，計３名であった．

(30) She is the sister of my best friend, who happens to be dead.
(31) a. 彼女は私の親友の妹です．死んでしまったけれど．（１人）
b. 彼女は（死んでしまった・死んだ・亡くなった・亡くなってしまった）私の親友の姉だ．（12人）
c. 私の最高の友達の彼女の姉は事故で亡くなった．（２人）
d. 私の一番の友達の妹は，偶然亡くなった．（２人）
e. 彼女は私の親友の妹で，（そして）（不幸・不運）にも亡くなっている・死んだ・死んでしまった)．（５人）
f. 彼女は一番良い友達の姉で，彼女は（突然死んだ・急死した)．（４人）
g. 親友の妹である彼女に死がふりかかった．（１人）

「偶然」を用いたのは２名だけで，他の学生は偶然性を表さずに訳していた．「死んでしまったけれど」と，逆接で躊躇を表したり(cf. (31a))，「死んでしまった・亡くなってしまった」と，「しまった」で不可抗力を表したりしている例が見受けられる(cf. (31a), (31b), (31e))．事態の不可抗力性を「不幸にも・不運にも」で表そうとした学生も計５名いた(cf. (31e))．更には,英文には書かれていない「事故で」，「突然」，「急死」，「死がふりかかった」と訳した学生(cf. (31c)，(31f)，(31g))もいて，これらは誤訳になるのだが，事態に対する不可抗力の解釈を拡大していくプロセスで起こった現象と見受けられる．

(32) Do you happen to know his telephone number?
(33) a. ひょっとしたら彼の電話番号を知っていませんか？（１人）
b. (あなたは）彼の電話番号を（知っていますか・知っていたのですか・知っているの・ご存知ですか・知っているのですか）？(14人)
c. (あなたは）（もしかして・もしかすると）彼の電話番号を知っていますか．（２人）
d. あなたは，彼の電話番号を知りたくなりつつありますか？（１人）
e. あなたは変わった彼の電話番号を知っていますか．（１人）
f. あなたは彼の携帯番号を（たまたま知っていますか・偶然知っていたりしませんか)？（３人）
g. あなたは彼の電話番号を知らされてますか．（１人）
h. あなたは偶然，彼の電話番号を知ったのか？（１人）
i. 電話番号を教えてもらってもいいですか．（１人）
j. あなたが彼の電話番号を知ったきっかけは何ですか．（１人）
k. 彼の番号知ってたりします？（１人）
l. どうしてあなたが彼の電話番号を知っているのですか．（１人）

「偶然・たまたま」を用いたのは計４名である．「知る」というのも，知ろうとする努力の有無はあるだろうが，結果的に知るかどうかは意図して成せることではない．「偶然・たまたま」が共起可能だとすれば，それは，(33h)のように知るに至ったプロセスを言うものであり，知っている結果状態を言うものではない．知るプロセスの偶然性を問うのが極まって，(33l)のように「どうして知っているのか」という理由を求める文になったのだろうか．不確定性を表す「ひょっとしたら」，「もしかして・もしかすると」という副詞を用いた学生も多い（cf. (33a)，(33c))．(33k)の「彼の番号知ってたりします？」というのも，断定性を弱めた婉曲表現の例と言えるだろう．

(34) How did she happen to start telling you about the man?
(35) a. どのように彼女は（偶然・偶然にも）あなたにその男について話し始めましたか？(４人)
b. 彼女は（どうして・どうやって・どのようにして・どのような事情で)その人について(話し始めました・話し出したのです)か．(14人)

c. 彼女はどのような偶然で君にその男のことを話したのか？（１人）
d. どのようにしてあなたは彼女にたまたま彼のことを聞いたのですか？（１人）

「偶然・たまたま」を用いなかったのは計14名である．偶然表現を用いている中で，(35c)の「どのような偶然で」というのは「どのようにして」ということであり，これは自然な日本語だと思うが，(35a)や(35d)のような「どのように，偶然」や「どのようにして，たまたま」というのは，理由を求める表現と事態の偶然性，つまり理由の欠如を認める表現が共起していて矛盾しておかしいと言えよう．

以上、学生の訳例を紹介したが，概ね偶然性を表す必要がなく，偶然性を表せば，寧ろおかしな文になる場合にはそのような表現を用いずに訳していた．これは日本語母語話者として適切な言語直観である．その場合に，学生はhappenのニュアンスに対して対応する日本語をいろいろと考え，不確かさや躊躇，意外性を表す表現を用いていた．何故そのような表現を用いたのかということはhappenの根源的意味と用法との関係に帰せられるだろう．happenの根源的意味と様々な用法との関連については，田岡（2011）で一考を述べた．[12]

６．おわりに

特別な理由があってこうなったのではないと，事態の因果関係の否定が考えられる場合のhappen to不定詞は「たまたま」で訳すことができる．また稀少事態を表すhappen to不定詞も「たまたま」で訳すことができる．他方．これらに該当しないhappen to不定詞は「たまたま」で訳すことはできない．その場合，どのような日本語が対応するのかについて，学生の訳例を参考に考えてみた．happenには，コトの偶然性や稀少性を表す以外の用法があり，翻訳の際はその点に留意する必要があると言えよう．

注

１）Danielle Steel, *Answered Prayers*. New York: A Dell Book. 2002. p.197.
２）*Oxford English Dictionary*.^{2} Oxford: Oxford University Press. 1989. s. v. *happen.*
３）上掲１）p.341.
４）村上春樹『海辺のカフカ』（新潮文庫（下））東京：新潮社．2007．p.67.
５）上掲４）p.320.
６）British National Corpus Online.
７）同上.
８）『大辞泉』（松村明監修）東京：小学館．1995.
９）Agatha Christie, *What Mrs. McGillicuddy Saw!* New York: Pocket Books. 1957. p.36.
10）小西友七（編）『英語基本動詞辞典』東京:研究社．1980．p.688.
11）上掲２）に同じ.
12）田岡育恵「事態認識の英語表現—コトの生起に対する話者の心的態度」大阪市立大学博士論文. 2011.